

社会公共事業

執行役員常務 中俣 力

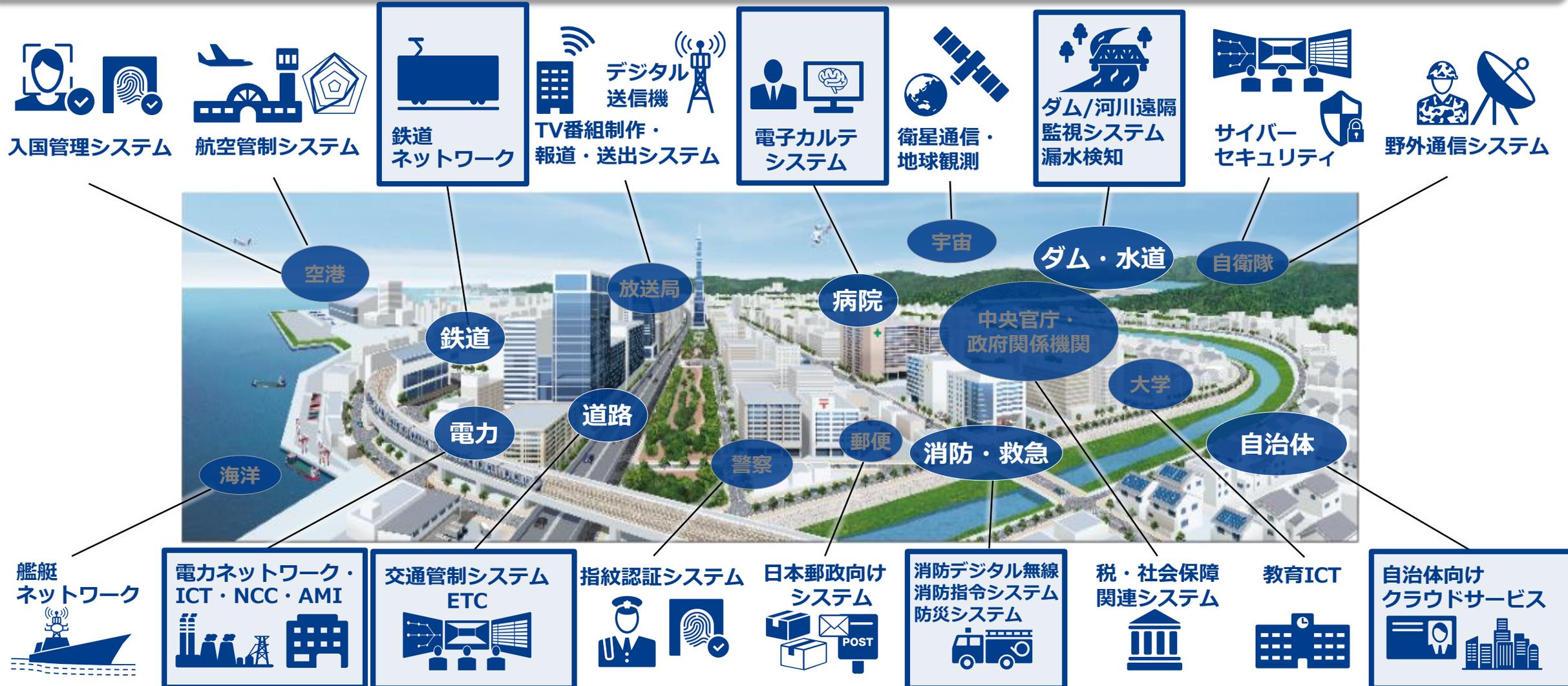
Orchestrating a brighter world

NECは、安全・安心・公平・効率という
社会価値を創造し、
誰もが人間性を十分に発揮できる
持続可能な社会の実現を目指します。

【事業領域】パブリック領域における社会公共事業

□: 社会公共事業領域

国内の地方公共団体・医療機関・電力事業者・交通機関・地域民需向け事業



【ビジョン】社会公共事業の目指す姿

SDGs



注目する課題

社会保障費の抑制

労働力不足への対応

地域活性化に向けた取り組み

Smart Transportation

Digital Healthcare

Digital Government

NEC Safer Cities

Public Safety

City Management

データ連携プラットフォーム

Digitalization



医療機関

国・自治体

電力・交通

民間企業

- 電子カルテシステム
- 地域医療連携
- 健康管理支援
- 医事会計システム
- 病理画像解析

- 住民情報
- 行政情報
- 住基NW
- マイナ[®]-基盤

- 消防指令/無線
- 防災無線/情報
- 消防救急クラウド[®]
- 災害検知

- 交通管制
- ETC
- 列車無線
- 駅構内NW
- 空港NW/フライトインフォメーション

- 電力NW
- AMI
- NCC
- エネルギーマネージメント

- 販売管理
- 生産在庫管理
- 会計
- 人事給与
- 会員管理



センシング
コンピューティング
ネットワーク

R&D

【サマリー】2020中期経営計画に向けた実績と目標

2020中期経営計画実現に向け、トップライン（PC特需除く）を維持しつつ、「更なる収益性の改善」および、「次の成長戦略に向けた準備」を実施

ギアチェンジの年

- 指名停止※への対応
- 構造改革の完遂

※消防デジタル事案 等

ターンアラウンドの年

- 定常オペレーションへの回帰
- 安定した事業基盤の確立

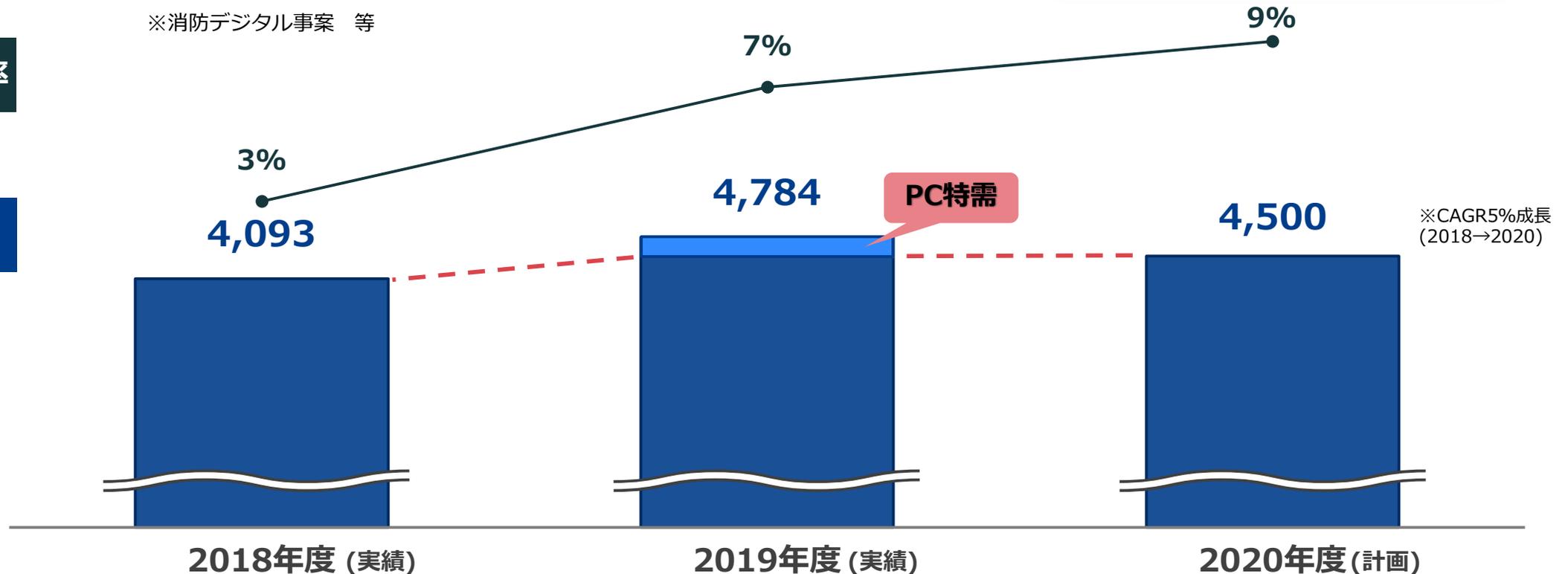
オフENSEの年

- 2020中期経営計画の実現
- Post 2020に向けた準備

調整後営業利益率

売上高

(単位:億円)



アジェンダ

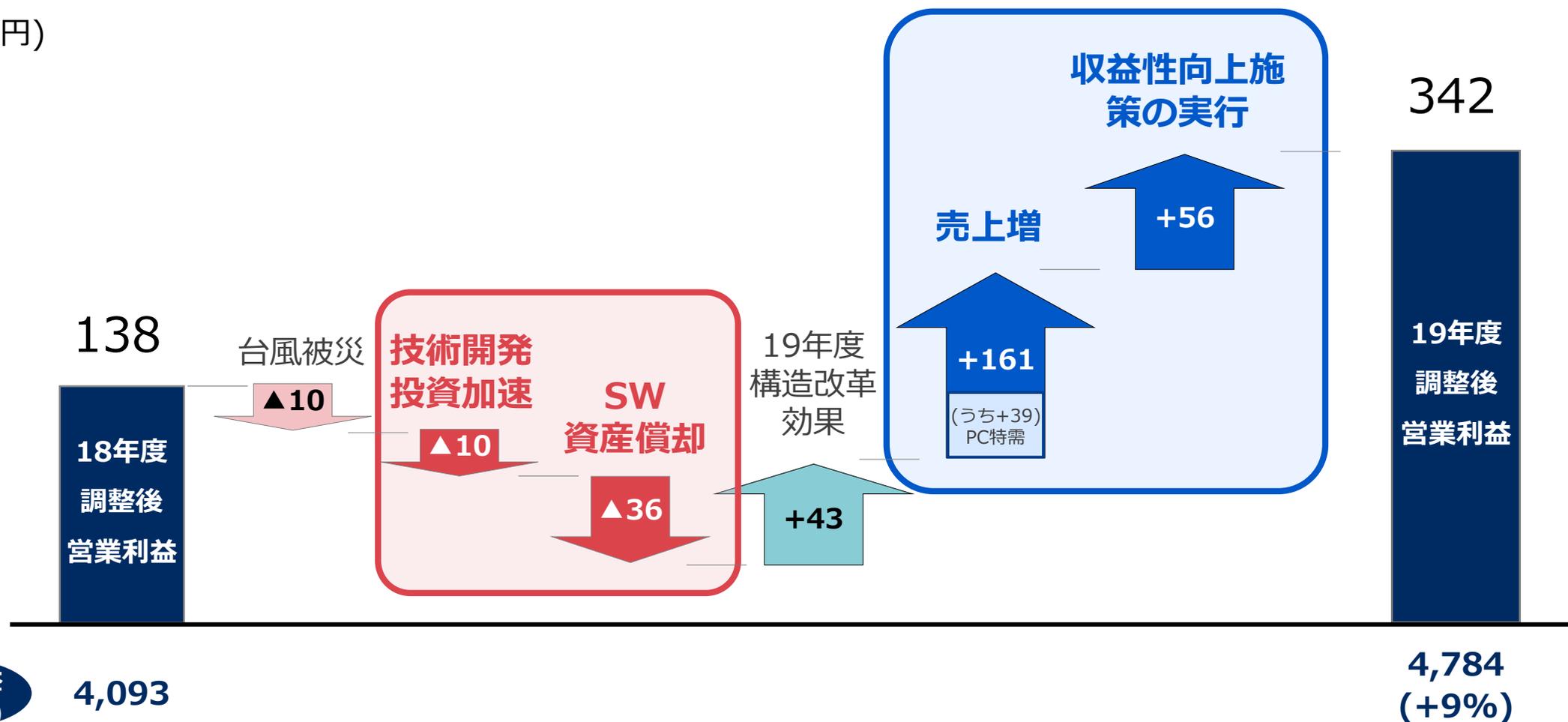
1. 2019年度の実績
2. 2020年度の見通し
3. 中長期的な経営課題と対策

1. 2019年度の実績

2019年度の実績

2020中期経営計画に向けた先行投資などを織り込みつつ、「売上増」や「収益性向上施策の実行」により大幅な増収を実現

(単位：億円)



主な 成果

① 2020中期経営計画実現に向けた施策

- ・ 技術開発投資の加速
- ・ 資産クリーンアップ

② トップラインの拡大

- ・ 基盤事業の着実な伸長
- ・ PC特需

個別事業領域の伸長率

公共(国、法改正等)	205%
医療(電子カルテ等)	114%
地域民需(基幹系等)	119%

③ 収益性向上施策の着実な実行

- ・ BU横断の品質改善活動による収益性改善

品質対策を 重層的に強化

受注前フェーズ

開発フェーズ

出荷フェーズ

リスク判定会議
受注前審査会

計画審査 工程審査

出荷判定審査

上流工程での
品質作りこみ

品質専任部隊による

- ①全工程通貫チェック
- ②少額案件へのプロセス拡大

幹部によるBUを横断した

- ③重要案件の相互チェック

技術専門部隊による上流からの

- ④横断的アーキテクチャ統制

新規事業立ち上げに向けた

- ⑤初物案件に重点化したプロセスの整理（準備）

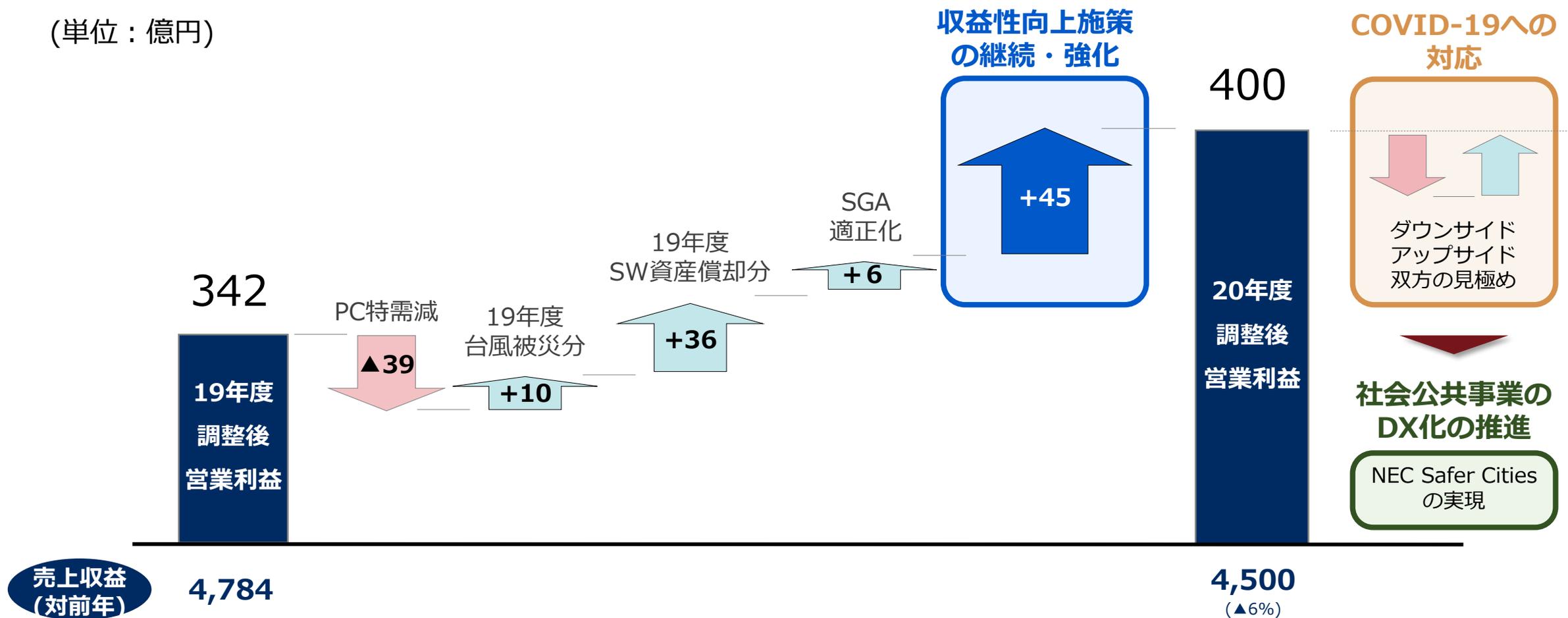
2020年度
重点施策

2. 2020年度の見通し

2020年度の見通し

収益性向上施策の継続・強化による増益計画
COVID-19への着実な対応と、社会公共事業のDX化加速への先行的な取り組み

(単位：億円)



売上収益
(対前年)

4,784

4,500
(▲6%)

① 収益性向上施策の継続・強化

- ・ BU横断の品質改善活動による収益性改善
- ・ サプライチェーン改革による効率化・コスト低減
- ・ 利益重視のマネジメント強化

② COVID-19への対応

- ・ New Normalソリューション需要の確実な取込み

③ 社会公共事業のDX化の推進

- ・ Digital Government
- ・ Digital Healthcare
- ・ City Management/Public Safety

Q1業績への影響

- 売上、利益への影響は限定的
- 医療・地域民需領域を中心に受注減

今年度の見通し

- 感染拡大の長期化による
医療・交通・民需領域での投資延期の拡大懸念
- New Normalソリューション需要の高まり

対応策

- リモート・タッチレス、在宅勤務、経営効率化(DX)の
商談獲得
- 補正予算^{*}等の獲得
- 費用マネジメントの徹底による利益確保

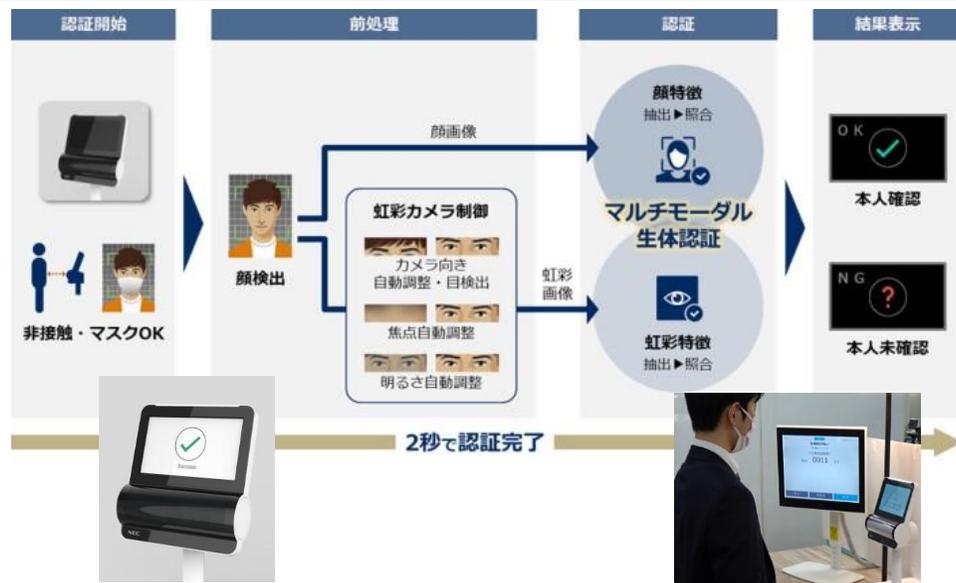
※新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金、新型コロナウイルス感染症緊急包括交付金

医療機関を安全・安心の場とするため、非集合・非接触を実現する技術を駆使し、医療従事者・来院者のCOVID-19感染拡大防止を支援



	行政サービスデジタル化	クラウド・バイ・デフォルト
顧客ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 申請手続きのユーザビリティ向上 官民の生産性向上 	<ul style="list-style-type: none"> 行政負荷の削減 サービスレベルの向上
基本戦略	<p>ノウハウ × 生体認証</p> <ul style="list-style-type: none"> マイナンバー基盤との情報連携 (政府基盤構築ノウハウ) 生体認証技術  <p>1234 5678 9012</p>	<p>自社技術 × パートナリング</p> <ul style="list-style-type: none"> 用途・目的に応じた協業によるハイブリッドクラウド サイバーセキュリティ技術 
	<p>ルールメイキング</p> <p>利用者目線、サービスデザイン思考での行政サービス立案・規制改革に向けた超上流提案</p>	

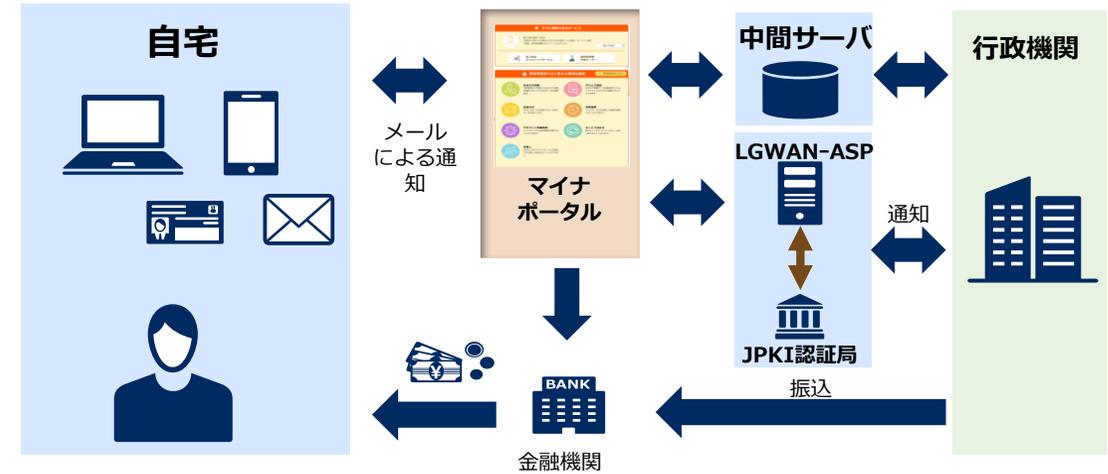
マイナンバーカードと生体認証の活用



効果

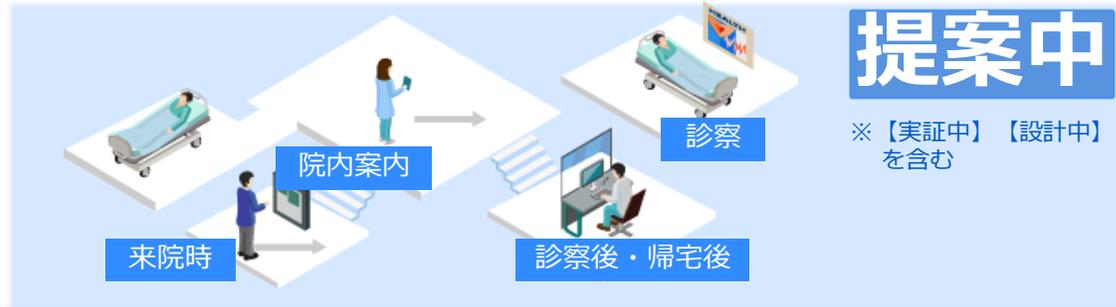
- ・ PW管理が不要になり、ユーザーの利便性が大幅向上し不正利用も防止できる。

マイナポータルを活用した 給付口座事前登録



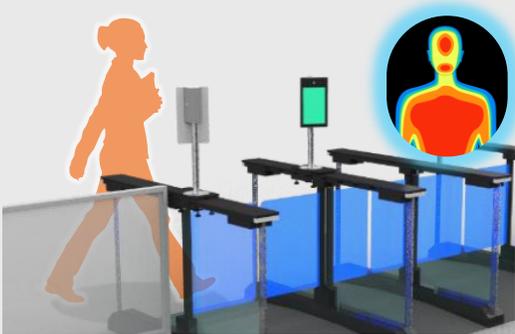
効果

- ・ 今後のマイナンバー活用の可能性を拡げる
- ・ 紙での申請が不要になり、ユーザーの利便性が大幅向上



来院時 ~手前でリスク低減~

来院者の事前体表温チェック、勤務時間の把握により体調管理



顔認証ゲート

サーモゲート

発熱スクリーニング

ストレス分析

病院内 ~非接触・非待機・非集合~

院内案内

院内サイネージとアプリで様々な国の人々をサポート



診察・入院・看護

非接触でのカルテ利用、入力支援、遠隔医療診断支援



顔認証・再来受付

音声記録AI

電子カルテ

AIチャットボット+アプリ

顔認証ログイン

オンライン診療

診察後・帰宅後 ~安心の情報連携~

必要な施設間での治療履歴等共有、退院後のフォローができる



顔認証決済SL

服薬支援SL

カルテ共有

AR・VR

リモートカンファレンス

オンライン診療

広域防災 ～高松市から近隣自治体へ～

防災関連情報をデータ連携で一元化、俯瞰的な状況判断による意思決定を支援



データ連携基盤の共同利用による
近隣自治体との広域連携



広域防災データ連携・利活用基盤



道路



天気



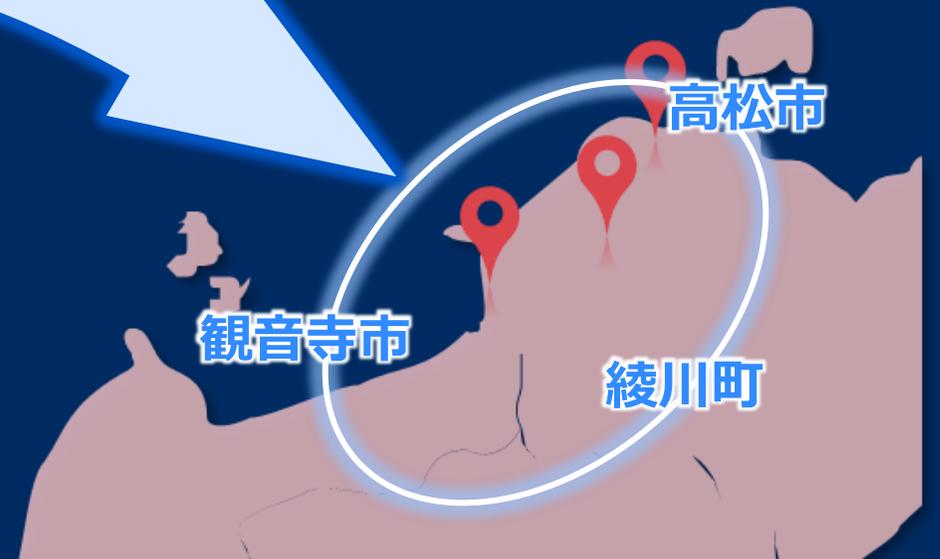
河川水位



潮位

様々な分野の情報を共通画面へ表示

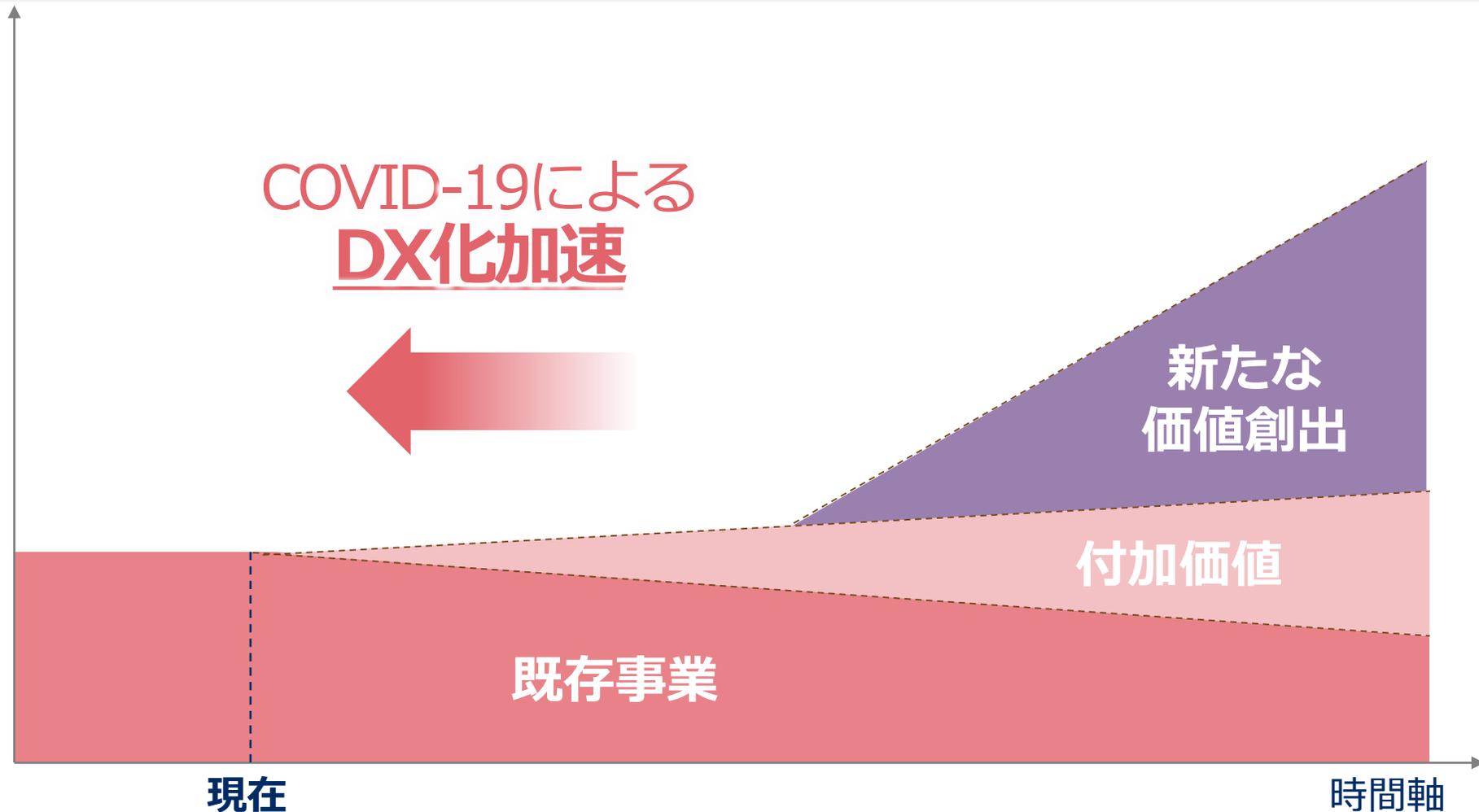
→リアルタイムの状況認識へ



3. 中長期的な経営課題と対策

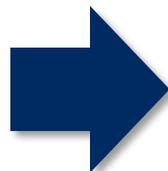
中長期的に我々が目指す事業の方向性

COVID-19によるDX化の加速を踏まえて、
社会公共事業のポートフォリオ変革を実現



経営課題

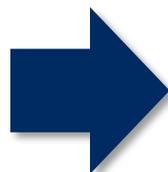
事業ポートフォリオの変革



対応策

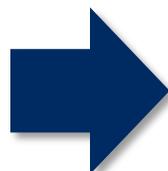
- ・新規事業領域を早期に立ち上げて、収益力ある事業として確立

DXに対応した事業体制の確立



- ・データ連携基盤の構築
- ・DX人材の育成、外部人材の獲得

営業力の強化



- ・事業部門との一体化マネジメント
- ・ハイブリッド営業スタイルの確立
(デジタル×リアルの融合)

NEC Safer Citiesの実現

「経済財政運営と改革の基本方針2020 ～危機の克服、そして新しい未来へ～ (骨太の方針2020)」

第3章「新たな日常」の実現

1. 「新たな日常」構築の原動力となるデジタル化への集中投資・実装とその環境整備
(デジタルニューディール)

(1) 次世代型行政サービスの強力な推進— **デジタル・ガバメントの断行**

2. 「新たな日常」が実現される地方創生

(1) 東京一極集中型から多核連携型の国づくりへ

① **スマートシティの社会実装の加速**

「データヘルス改革推進計画」

1. 趣旨

今後我が国が、世界に先駆けて、超高齢社会の問題解決に取り組む上では、まず、「健康・医療・介護に関する国のあるべき姿」の検討を行い、「患者・国民に真に必要なサービス」を特定する必要がある。そして、こうした理念やビジョンに基づき、**膨大な健康・医療・介護のデータを整理し、徹底的に収集・分析**して、これからの健康・医療・介護分野のICTの利活用が「供給者目線」から「患者、国民、利用者目線」になるよう、**ICTインフラを作り変え、健康・医療・介護施策のパラダイムシフトを実現**していかなければならない。

資料1

社会公共事業の目指す姿



NEC Safer Citiesの実現

事業の
位置づけ

社会のインフラを支え、
地域のサステイナブルな成長に貢献する事業

2019年度
振り返り

トップライン拡大と収益性向上施策の実行により
利益改善を実現

2020年度
重点施策

収益性向上施策の継続・強化とCOVID-19インパクトの
見極め・リカバリーにより目標利益を確保

今後の
市場環境

COVID-19感染拡大に起因したデジタル化の加速

中期的
事業目標

新規事業領域の早期に立ち上げ、
安定的に収益を確保できる事業構造の確立

Orchestrating a brighter world

NECは、安全・安心・公平・効率という
社会価値を創造し、
誰もが人間性を十分に発揮できる
持続可能な社会の実現を目指します。